

NSF、新技術プラットフォームの開発を目的とした
工学研究センター3施設新設のために5,550万ドルを拠出（8月10日）

米国科学財団（National Science Foundation : NSF）は8月10日、新技術プラットフォームの開発と業界変革を目的とした工学研究センター（Engineering Research Center : ERC）3施設を新設するために、5,550万ドルを拠出することを明らかにした。これらは、①イリノイ大学アーバナ・シャンペン校が主導する「電熱システム電力最適化のためのNSF工学研究センター（NSF Engineering Research Center for Power Optimization for Electro-Thermal Systems : POETS）」、②ライス大学（Rice University、テキサス州）が主導する「浄水システムを可能とするナノ技術のためのNSF ナノシステム工学研究センター（NSF Nanosystems Engineering Research Center for Nanotechnology Enabled Water Treatment Systems : NEWT）」、③アリゾナ州立大学（Arizona State University）が主導する「生物媒介・生物触発地質工学のためのNSF工学研究センター（NSF Engineering Research Center for Bio-mediated and Bio-inspired Geotechnics : CBBG）」、の3施設である。これらのERCは、米国内外の大学パートナーと協力して研究を実施することになる。

National Science Foundation, Three new Engineering Research Centers will advance U.S. resiliency and sustainability

http://www.nsf.gov/news/news_summ.jsp?cntn_id=135694&WT.mc_id=USNSF_51&WT.mc_ev=click